JREU JR東労組千葉地本
２０１９年３月３１日№１１０
ＪＲ東労組千葉地方本部
発行者：下村悟史
編集者：情宣担当
ホームページ http://www.jreu-chiba.jp/

「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について」3月28日　本部は本社より提案を受ける！

「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について」

◆実施事項

(1)新たなジョブローテーションの実施

多様な経験を積むことで安全・サービスレベルを向上させることを目的とし、これまでの駅、車掌、運転士の順に養成を行う体系を見直し、以下の通り柔軟な運用とする

①車掌試験、運転士試験を廃止する。今後の乗務員への異動は任用の基準に則り取り扱う。
②車掌を経ずに運転士となることを可能とする。
③車掌及び運転士の職名を「乗務係」「乗務指導係」「乗務主任」「乗務主務」に統一する。
④駅配属の中途採用社員が乗務員へ異動することを可能とする。
⑤同一担務の従事期間が最長でも概ね10年を超えないように異動又は担務変更する。

(2)車掌試験・運転士試験の取扱い

車掌試験は2018年度（2019年3月実施済）、運転士試験は2019年度（2019年5月実施）をもって廃止する。なお、新幹線運転士試験は2018年度（2018年10月実施済）もって廃止する。

(3) ライフサイクルの深度化の見直し

現在のライフサイクルの深度化は2019年度の異動をもって廃止とし、今後は新たなジョブローテーションに組み込むこととする。なお2020年4月1日時点で駅に在籍している社員については従前の取扱いとする。

(4)その他の取扱い

賃金制度の改正を行う。内容については別途掲示

(5)実施日

2020年4月1日

３月28日、東労組は、「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について」の提案を受けました。職場ではタブレットへ一斉送信され、提案内容に困惑して「もうなんでもありになってしまう」「試験がなくなると、競争が激化するのでは」「経験労働を無視すれば仕事の誇りがなくなり、絶対事故が起こる」「乗務手当がなくなるの？」「これからの未来がどうなるのか不安だ」など様々な不安が寄せられています。

今施策は、これまで提起してきたように、働き方改革の名のもとに進めようとしている施策であることは間違いありません。ですから、働き方が根本から変えられると不安に思うことは当然です。しかし、安全を基軸とした輸送サービス品質を向上させるために、労使議論を積み重ねて創られた各種施策によって今のJR東日本が出来ていることは間違いありません。根本から働き方が変わるとしても、これまでの施策との積み重ねとの整合性がなければ、安全で安心して働くことはもちろんのこと、安全をお客様に提供することはできません。

今こそ東労組の旗の元に結集して、労働者の視点を入れた施策へと創り変えていかなければなりません。「安全・健康・ゆとり・働きがい」を対峙して、要求実現に向けて職場から挑戦していきましょう！

働き方改革が叫ばれている今、将来に渡り安全で安心して働ける職場を創り出すために、職場から運動を創り出そう！